

様式 2

教 科	種 目	発 行 者
数 学	数 学	日 文

調 査 項 目	意 見
1 知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・丁寧な解答例と豊富な量の問により、基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図り、「話し合おう」「説明しよう」などの活動を通して、思考力・表現力を育めるよう十分に配慮されている。 ・新たな性質などを見出す「見つけよう」などの数学的活動を設定し、自ら考え、主体的に学ぶことができるよう配慮されている。 ・基礎的な問題、補充問題、やや程度の高い問題、活用する力を伸ばす問題など、個に応じた問題が適切に設けられていたり、既習内容がすぐに振り返られるよう明記されていたりする工夫がある。 ・単元のはじめに既習内容が理解できているかを確認する場を位置付け、小学校や前学年の内容を学び直す機会となっている。発展的な問題も章末や巻末に位置付けられている。
2 主体的な態度の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・章の導入では中学生が登場し、単元に関する内容についての疑問や考えなどが書かれており、親しみをもって学習に取り組める題材や構成になるよう配慮されている。 ・学習のねらい、例、問で構成され、例には学習する内容が端的に書かれており、分かりやすい構成である。また、「ふりかえり」を位置付け、既習事項を想起しやすくする工夫もある。 ・「基本の問題」「くり返し練習」「章のたしかめ」などにおいて、豊富な問題が用意されており、基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着を図ることができるよう、構成・分量が十分に配慮されている。
3 「地域社会人」の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・他教科に関連する事柄や生活、数学の歴史などが取り上げられており、身近な事柄や歴史と数学との関わりを大切にした工夫が十分になされている。
4 印刷・造本	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめや重要な語句の背景に色が塗られており、分かりやすくなっている。また、小口には単元ごとに色が塗られ、わかりやすくする工夫が十分になされている。 ・目次では、学習する内容と「これまで学んだこと」が併記されているなど、既習内容とのつながりが分かる工夫が十分になされている。
5 総 評	<ul style="list-style-type: none"> ・学び直しを位置付けて既習内容を想起することで学習の足場をそろえたり、多くの問題を位置付けたりすることで、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に身に付け、それを生かして思考力・判断力・表現力を育むことができるよう十分に工夫されている。 ・学習のねらい、例、問のサイクルで学習を繰り返したり、章末、巻末などに様々な問題を設けたりすることで、個に応じて学習できるように配慮し、主体的に学習に取り組む態度を養うことができる。